

広報

えりも

2011

12月号 №.877



一匹ずつ大事そうに放流する園児たち

マツカワの赤ちゃん、
元気に帰ってきてね

十一月十日、光の園幼稚園（逆井栄子園長）の園児三十一人が、マツカワ稚魚二千匹をえりも港から放流しました。

放流事業は栽培センターが催したもので、例年は九月上旬に行われていましたが、津波の影響で同センターが被災し、伊達市栽培センターからの搬入が遅れたために、放流時期もずれ込みました。

肌寒い天候の中、防寒着に身を包んだ園児たちは、例年より三ツほど大きく成長した稚魚が入ったバケツを重そうに持ちながら、幼稚園職員や保護者の助けを借りながらも次々と放流していきました。園児たちの中には一匹ずつ慈しむように放す、ほほえましい光景も見られました。

上近浦で避難訓練

住民約五十人、一斉に高台へ



訓練後の消火訓練

高台へ避難する
近浦地区の住民

マグニチュード九・〇の地震発生を想定した避難訓練が十一月八日、上近浦地区で行われ、参加した五十人は改めて防災への意識を高めました。

今回の訓練は、津波で国道が遮断され、役場職員や消防署員が現地に向かえない可能性があることから、

地域住民が自主的に避難する防災意識向上と、災害対策本部への報告を円滑に行えるようにすることが目的です。

午前十時に防災無線で津波警報が流れると、住民は一斉に避難場所の高台を指して避難しました。十五分後には大津波警報に変わ

十一月十二日、町と北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センターが主催した「サイエンスカフェ in えりも」が、えりも岬の林業総合センターで開かれました。

この催しは、町民と北大の研究者が地震や津波について気軽に語り合い、地域の防災力を高めていくことを目的に昨年からは開かれています。

同センター長の谷岡勇市郎教授は、東日本

えりも岬で地震・津波を学ぶ

サイエンスカフェ in えりも

大震災の被災地である宮城県名取市や南三陸町の惨状を映像で紹介したほか、同地の防災対策が一定の効果を示したことから、太平洋沿岸に四百年周期で大津波が押し寄せていることを話し、家庭での防災対策の必要性を説きました。

来場者からは、「えりも岬への津波が高い理由は？」など質問が寄せられていました。



来場者からの質問に答える谷岡教授

サケの飯寿司づくり に77人 札幌や室蘭から一えりものを学ぶ



サケの飯寿司作りに挑戦する会場いっぱいの参加者たち。札幌や室蘭などから77人が参加しました。奥のスクリーンには、ステージ上で講師がつくる飯寿司の様子が映し出されています。

今年で三回目となるえりも地域力発掘協議会（高橋祐之会長）主催の「サケの飯寿司づくり体験」が十一月十二、十三日の両日に栽培センターと福祉センターで開かれました。

体験会には、室蘭や札幌など道内各地から応募があり、五十七組七十七人が参加しました。
参加者は、初日に栽培センターでサケのおろし方をサケ定置網部会長の佐藤



飯寿司づくり講師の渡部智佳子さん

さんから習い、翌日に福祉センターで漬け込み作業を行いました。飯寿司の講師は、今年一月のつけものコンクール「サケ飯寿司の部」で一位の渡部智佳子さん（本町）が務め、サポートにはえりも漁協婦人部十名がつかまりました。
ステージ上には渡部さんが作る飯寿司の様子が映し出され、参加者は熱心に飯寿司作りに挑んでいました。

参加した北見市の女性は「貴重な体験ができて、とても楽しかったです。手間がかかったので食べるのが待ち遠しい」と話していました。

私のひとこと

がぜのまち

えりも町長 岩本溥叙

この一年

もはや未曾有^{みぞう}、想定外というのが、当てはまらないのか、そんな気持ちにさせるような東日本大震災。まさに復旧、復興の一年であり、今なおご家族を探し、路頭に迷う方もおられるとのこと、その心情を察するに余りあるものがあります。

当町では震災後、多くの防災対策を講じてまいりましたが、いついかなる時も有事に備えた心構えは必要であります。今、防災は減災と言われています。是非ご家族で減災に対する話をしていただきたいと思えます。東北地方を支援するために開催しました「えりもうに祭り」

や「海の幸直売会」などを通じて、町内・町外に「元気」を発信したこの一年でした。



定例町議会 一般質問

先月号に引き続き、九月に行われた定例町議会の一般質問を掲載します。
今月は三議員五件の一般質問です。

手塚裕警議員

再生エネルギー活用

◆質問 送電網整備や買い取り拒否など問題点も多
が、風力などの自然エネルギーは、えりも町にとって大切な埋蔵資源である。積極的に整備すべきではないか。

制度が不十分であれば、
国、道、北電に対して、働きかけを行うべきではないか。

●答弁 えりも町は風力発電推進市町村全国協議会の役員になっており、全量買取制度や電力インフラ整備などについて、国を始め各方面に対して要望している。

◆質問 現在の制度でも、風力発電を中心としたまちづくりに向けて、環境整備や調査研究を積極的にすることができると思う。町全体で官民一体となった議論をする場があってもいいのではないか。

●答弁 企業誘致については、先に当町を視察した新エネルギービジネス研究会などのネットワーク構築を図っているところである。

官民一体となった議論の場を否定するつもりはないが、町としては、送電網の整備や買い取り拒否の諸問題、それを国が責任を持って解決できる方策を早々に出していただくことを要求し、その上でえりも町とし

ての意見を町民のみなさんと議論をしていきたいと考えている。

また、道が今後、市町村ごとに自然再生エネルギーの可能性調査をするので、この結果からさらに検討していきたいと考えている。

◆質問 制度が整う前でも、採算がとれる方法や可能性について、多くの方から意見をもらい、議論していくべきではないか。

●答弁 現在騒がれている資源再生エネルギーの方向性がまだ見えない。道の調査に町も積極的に関与し

て、その調査を基に官民一体となった取り組みをしていきたいと思っている。

空き店舗の活用

◆質問 事業内容に観光案内、展示、交流の場としての案もあるが、駐車場のある商工会の観光案内でさえ訪問者は年間十人程度と聞いており、展示などについては福祉センターでも行っている。改修費と維持経費をかけてあの場所にそれだけのものをやる意味があるのか。

利用人数の見込みと、それら施設との兼ね合いをどう考えているのか。

●答弁 駐車場を含めた利便性については、空き店舗再推進打ち合わせ会議やまちづくり推進協議会の中で議論を重ねているし、空き店舗の寄贈を受ける際には議員の皆さんからご意見を伺ってから寄贈を受けている。

確かに利便性は悪いが、

まちづくりへの 思いを町長へ

あらほのまちづくり
いきいきトーク

「心豊かに健康でいきいきとした生活を送られるまちづくり」を目指し、まちの将来に対する夢や希望を、町長と話し合ってみませんか。

■対象は？

原則、町内に在住、勤務する者で構成された五〜十人程度の団体などが対象です。

■対話するには？

希望日の十日前までに申込書を役場企画課までご提出ください。申込書が必要な方は、企画課まで連絡を。

■場所や時間は？

土・日曜、祝日を含む



えりも高校横に建設している風力発電

寄贈を受けた目的に沿って向かっているということをご理解いただければと思う。

今回の議会で条例化したと考えているが、その条文に記された目的は、地域住民の生活文化の向上に寄与すると共に、地域活性化を図る施設として設置するもので、管理運営に必要な部分については、地域住民の集い、休憩の場、高齢者などの趣味娯楽活動の場、観光、地元特産品と情報提供の活動の場、そして個人又は団体の発表会、イベント活動等の場として使い、運営していくというものである。

想定される人数は、今ここで明確にはお答えできないし、福祉センターとの競合については、福祉センターと競合しない利活用を図っていく。

維持費を含めてやる意義があるのかとなると、原点到に帰らなくてはいけない話になるが、すでに寄贈を受けているし、その利活用は



地域活性化に向けて期待される空き店舗

官民一体となって進めているところなので、意味がないというお話にはお答えする必要が今のところはないと私は理解している。

商工会との兼ね合いだが、私どもはあくまでも一次観光案内として位置づけている。パンフレットなどを配布して情報発信をする場ということであるので、連携をとった観光案内をするという位置づけをしている。

◆質問 駐車場がないことはやはりネックになる。観光客からすれば停車場と

観光案内所が離れていたらずま行かないし、またそこを歩いている人もほとんどいない状況である。

採算については、目的があつてそれが必要な施設であればいいことだと思つている。しかし、利用者がいない状況を想定しているはずなのに、強引に押し進めるところが少し疑問に思う。

●答弁 商工会の観光案内は土日は行っていないが、この施設なら可能である。

現状、人はいなくても、官民上げて集まるように努力していきたい。

町内循環バスの整備

◆質問 福祉バスの運行を拡大して、上歌別地区、桜岡地区、パークゴルフ場への交通機関として利用できないか。調整次第で可能かと思うが。

●答弁 福祉バスの乗車率だけからみれば乗車できる余地はある。運行していな

い日もあるし、土日も基本的には運行していない。ただ、町が送迎するには、市町村直営で有償の運送制度があるので、それらを検討していかねければならないと考えている。福祉バスを利用するにしても予算も伴うので、今すぐには回答はできない。

例えば、公共交通の空白地帯であれば個別に相談いただいで、その対応について話をしたいと考えている。

◆質問 福祉バスとは別に循環バスを運行させる計画はあるか。

●答弁 通常路線は現在、ジェイ・アールバスに運行委託している現状だが、運行していない地帯も含めて、両面から検討をしているところである。

運行計画の具体的なものはないが、町内巡回バスの運行については、高齢者の移動手段の確保、バス運行の効率性、地域活性化の推進等の観点から、引き続き検討しているということ

む午前九時から午後九時までのうち、一時間程度です。

開催の場所や方式は、団体にお任せします。

▼中止する場合

・公の秩序を乱し、又は善良な風俗を阻害するおそれがあるとき。

・政治、宗教又は営利を目的とした催しなどを行うおそれがあるとき。

・事業の趣旨に反し、要望や苦情などの場になるおそれがあるとき。

・このほか、町長の公務の都合によりご希望の日程に添えないことや、急きよ中止になる場合がありま

す。あらかじめご了承ください。

●問い合わせ・申し込み先
企画課広報係
(021-4611)

ご理解いただきたい。

石川昭彦議員

エゾシカの駆除

◆質問 有害駆除による捕獲数はどのくらいか。

●答弁 有害駆除の捕獲数は、平成二十二年度は七百二十一頭、平成二十三年度はまだ有害駆除依頼期間中だが、八月中までで千六百九十六頭となり昨年の二・三五倍となっている。九月末までの期間中、駆除頭数は二千頭を超えるものと考えている。

◆質問 捕獲に関する報奨金の予算措置は、今後も継続可能か。

●答弁 シカの駆除対策は、日高鳥獣被害防止対策広域協議会を立ち上げし、本年度より各町と連携しながら、三か年計画で駆除をしている。

昨年度の所要経費は、一頭当たりの駆除報償費が二千円で約百四十万円を含む四百五十万円ほどだった

が、本年度は駆除報償費が六千円と八千円に上がり、捕獲数の増もあつて二千五百頭分の千七百二十万円となり、その他の処理経費等を合わせると、三千万円前後の駆除経費となる見込みである。

財政上大変厳しいものがあるが、次年度においても予算確保し、各町と連携を図りながら、生息数を減らす努力をしていきたいと考えている。

◆質問 鳥獣被害防止特別措置法に基づく鳥獣被害対策実施隊を設置する考えはないか。

●答弁 えりも町の有害駆除への取り組みとして、猟友会えりも分区の町内会員及び町外者の賛助会員と猟友会に入っていない町内ハスター四名に依頼している。

平成二十二年度は三十八名、平成二十三年度は四十五名に依頼しているが、実際に駆除を行い、報償費の申請をしている人数は、その半分ほどとなっている。



捕獲数が増えたエゾシカ

実施隊を設置すると、隊員は町の要請した捕獲作業に参加しなければならぬなどの制約もあり、正当な理由なく参加しない隊員は退任されるなど、制限が課せられる。

現在の方法で大きな問題、トラブルもなく実施できているので、当面現在の方法で取り組んでいきたいと考えているので、ご理解いただきたい。

高松亮裕議員

医療費と国保財政

◆質問 医療費の軽減は、

医療機関への支払いだけでなく、国民健康保険会計の財政健全化にもつながる。軽減に向けた努力をすることが緊急の課題だと思いが。

●答弁 当町の国民健康保険は、医療費が全道でも高い部類に入っており、それは国保税の負担も高い水準にあるということでもある。

これまで、国の指導を受けながら、国保の安定化計画を作成して、レセプト点検や医療費通知などをほかの町より先進的に取り組んでいる。また、生活習慣病の一次予防として、国保へルスアップ事業を導入した経緯もある。高齢者保健では、認知症の早期発見の取り組み、歯科保健では健診と相談の充実、さらに個別の栄養指導など、医療費の適正化や医療費を下げる取り組みをこれまで行っている。

国民健康保険の健全な財政運営のためには、医療費を減らすことは非常に重要

な取り組みであるという認識を持つているので、引き続き積極的な政策の展開をしていきたいと考えている。

◆質問 ジェネリック医薬品の町民周知に向けて、積極的にPRをしていく考えはあるか。

●答弁 本年度、国民健康保険の医療費適正化事業の中で、冊子、パンフレットの購入予算を計上している。国保の被保険者を中心にこれらを配布していきたいと思っているので、国保の切り替えや案内のときなどにも利用したいと考えている。

また、このパンフレット等を選ぶ際には、わかりやすく解説されているものを選びたいと考えているので、ご理解いただきたい。



子ども議会

横断歩道の設置希望など 十六人から一般質問

昨年、町百三十年事業として初めて行われた「子ども議会」が今年も開催され、小学生から高校生までの代表者十六人が、一日議員となつて議場で一般質問をしました。

冒頭の挨拶で、岩本町長は「えりも町の将来を担う皆さんが、子ども議会を契機にまちづくりに参加して頑張っていくことを期待したい」と呼びかけました。

最初の質問者は、笛舞小学校五年生の笠嶋未夢さんで、「笛舞に横断歩道が一つしかなく、通学のために国道を横



や緊張気味ながらもしっかりと口調で質問していました。

断するので危険です。横断歩道をつけてほしい」と訴えました。

町長は「設置は北海道公安委員会が判断しますが、危険性はよく伝わりました。難しい面もありますが、地域のみなさんとよく話し合つて要望していきたいです」と答えました。

えりも岬小学校五年生の石川淳基くんは、ゼニガタアザラシの漁業への影響を心配する一方、観光資源でもあることを話し、漁網に入らない工夫について質問しました。

町長は、環境省と専門家が網に入らないようにする方法を調査中であることを伝え、えりもシールクラブが何十年もの間、漁業と観光の共存に努力していることも話しました。

議会は二時間に及び、質問を終えた子供たちはホッとした表情を浮かべていました。

文化祭芸能発表会

一年の成果を舞台上で披露

十月二十九日、町文化協会（嵯峨直樹会長）主催によるえりも町文化祭「芸能発表会」が福祉センターで開かれました。

町民吹奏楽団とえりも中学校吹奏楽部の合同演奏三曲を皮切りに、大正琴や舞踊、コーラスなど多彩な全九団体が一年間の練習の成果を披露し、この日訪れた二百八十名の観客から大きな拍手を受けていました。

発表会前には、えりも鳴子会（横嶋賢二代表）が町文化協会功労者として表彰されました。



多彩な舞台上に多くの拍手が贈られていました。

優良運転者 募集中

町では、来年2月開催予定の交通安全住民大会で表彰する、優良運転者を募集しています。

優良運転者の条件は、10年以上無事故無違反で、過去に一度も表彰を受けていない方です。

応募方法は次のとおりです。みなさまのご応募をお待ちしています。

■応募方法

①警察署又は役場で「無事故・無違反証明書」交付用の申請用紙を受け取ります。

②申請用紙を郵便局へ持参し申し込みをします。(有料)

③後日郵送されてきた「無事故・無違反証明書」を、町民生活課環境生活係までご提出願います。

■提出期限

12月26日(月)

■お問い合わせ先

町民生活課環境生活係

☎2-4621

◆町立診療所

12月30日(金)午後～1月5日(木)

◆道立庶野診療所

12月28日(水)午後～1月5日(木)

※1月5日(木)午後3時から診療を始めます。



浦河警察署からのお知らせ

年末における犯罪・ 事故を防止するために

―犯罪や事故のない年末

年末は、空き巣や車上ねらいなど、道民生活に身近な犯罪や振り込め詐欺の発生が予想されます。

安全で安心な年末を送り、希

歳末警戒 12月28日～30日

午後7時から サイレンを吹鳴

末警戒を実施します。

また、その期間中、午後七時より無火災の啓発のため、全地区一斉に防災無線でサイレンを吹鳴します。

年の瀬も押し迫り、何かと多忙な時期を迎えるに当たり、火災の発生を未然に防止して、火災の無い年末年始を迎えるためにも、火気の取り扱いには十分に注意しましょう。

日高東部消防組合
えりも消防団では、十二月二十八日から三十日までの三日間、歳

●オレオレ詐欺に注意

息子や孫を名乗る電話で、「携帯電話の番号が変わった」「溶連菌にかかって声がおかしい」などは、オレオレ詐欺です。振り込む前に家族、知人、警察に相談するようにしましょう。

●「ハンドルキーパー運動」にご協力ください。

ハンドルキーパー運動とは、自動車で仲間と飲食店などへ行く場合にお酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が仲間を自宅まで送り届ける運動です。

望に満ちた新年を迎えるため、次のことに気をつけて犯罪被害や事故に遭わないようにしましょう。

- 外出するときには、必ず戸締まりを。たとえ短時間の外出でも、油断大敵です。必ず戸締りをするようにしましょう。
- 自動車内には物を置かないように。

自動車から離れる時には、車内に物を置いたままにせず、必ずエンジンキーを抜いて、ドアに鍵をかけましょう。

年末年始のお休み

◆役場・教育委員会

12月31日(土)～1月5日(木)

◆福祉センター

12月31日(土)～1月5日(木)

◆福祉センター図書室

12月29日(木)
～1月10日(火)



◆郷土資料館

12月30日(金)～1月5日(木)

◆町民体育館

12月30日(金)～1月5日(木)



◆高齢者センター

12月28日(水)～1月3日(火)

年末年始のごみ収集と直接搬入受入時間

	清掃センター	埋立処分場	ごみ収集
	燃やせるごみ	燃やせないごみ・粗大ごみ	
～12/23(金)	休 み	13:00～16:00	休 み
12/24(土)～25(日)	13:00～16:00	13:00～16:00	休 み
12/26(月)～29(木)	8:30～16:30 (平常どおり)	8:30～16:00 (平常どおり)	平常どおり
12/30(金)	8:30～15:00	8:30～15:00	休 み ※リサイクルのみ収集 (一日の日程を午前中に処理)
12/31(土)	8:30～11:30	8:30～11:30	休 み
1/1(日)～3(火)	休 み		
1/4(水)	休 み	休 み	燃やせないごみの収集 (第1水曜日収集予定地区)
1/5(木)	休 み	休 み	燃やせるごみ・ リサイクルの収集 (木曜日収集予定地区)
1/6(金)	平常どおり		
1/7(土)～9(月)	休 み	13:00～16:00 (平常どおり)	休 み
1/10(火)～	平常どおり		

※12月30日(金)の収集は、リサイクルのみ収集します。

収集予定地区は、住吉、高見、新栄、みどり、中央です。なお、午後の予定地区に当たる柏台、旭ヶ丘地区も**午前中**に収集しますのでご協力をお願いします。

長年の功績が認められ

芹さんに特別表彰と感謝状

十月二十日、芹恭信さん（本町）が長年、地域福祉の向上に尽くしたとして、北海道社会福祉協議会長特別表彰と道知事の特別感謝状が贈られました。

芹泰信さんは、町社会福祉協議会が創立された昭和五十三年から評議員を務め、その後も理事や副会長を歴任するなど、多大な功績を残しています。



表彰を受ける芹さん（左）



ブロックするえりもバレーボール少年団

道央二十八チームが参加

北海道小学生バレーボール大会

道新カップ北海道小学生バレーボール大会道央大会が十一月五、六日の両日に開かれ、町民体育館とえりも中学校体育館を会場に、男子・混合十二チーム、女子十六チームが熱戦を繰り広げました。大会には、えりもバレーボール少年団も参加し、健闘の末、真狩村バレーボール少年団に二〇で敗れています。

枝払いの効果で明るく

イキイキ森林づくり事業

今年で七回目となるえりも岬の緑を守る会（平野正男会長）主催のイキイキ森林づくり事業が十一月四日、百人浜の国有林で開かれました。

昭和五十八年に植えたクロマツは約七割に成長し、林内を薄暗くしていましたが、参加した約百人による枝払いの成果で、太陽が差し込んでいました。



枝払いをする参加者



200人ほどが聴衆に訪れました。

歌や踊りに拍手喝采

高齢者教室生大会

十一月十二日、町教育委員会と町老人クラブ連合会（勾坂将史会長）主催の高齢者教室生大会が福祉センターで開かれました。

会場には二百人ほどが集まり、歌や踊りの熱演に拍手とおひねりが飛び交いました。また、北大地震火山研究観測センターの谷岡教授が「北海道の地震と津波について」と題して講演を行いました。

トピックス

選手の汗が光る

町民ミニバレーボール大会

十一月十四日、町スポーツ推進指導員協議会主催の町民ミニバレーボール大会が町民体育館で行われ、十八チームが参加しました。大会は、どの試合も激しいラリー戦となり、厳しい戦いとなっていました。

優勝は、青年男子の部が東洋、一般男子の部が本町B、女子の部が本町A（S5HI）でした。



熱戦が繰り広げられたミニバレー



下級生も味見と見学に来ていました。

楽しく体験

庶野小サケフレーク作り

庶野小学校五、六年生の児童十一人が、総合学習の授業でサケフレーク作りを体験しました。漁協庶野支所が無償提供したサケ十五匹を使い、町職員、漁協庶野支所職員、漁協庶野女性部が指導しました。児童たちは前かがみの作業に「腰が痛い」と話しながらも、楽しそうな様子でした。

観客二百五十人を魅了

ジョイントコンサート

十一月十二日、町民吹奏楽団（嵯峨直樹団長）とえりも、様似両中学校の吹奏楽部によるジョイントコンサートが、えりも中学校体育館で開催されました。

約二百五十人が会場に訪れ、えりも鳴子会がよさこいソーランを披露するなど、演奏だけでなく多彩な演出でも観客を楽しませていました。



演奏をバックに生徒の合唱も披露しました。



入選の金子さん、小島さん、下村さん（左から）

えりも中三人が入賞

税についての作文

国税庁などが募集した中学生の「税についての作文」に、えりも中学校の生徒が入選し、十一月十五日に表彰式が行われました。入選したのは、北海道納税貯蓄組合連合会長賞に小島悠華さん（三年）、日高地区納税貯蓄組合連合会長賞に下村星奈さん（三年）、浦河税務署長賞に金子聖奈さん（二年）の三人です。

こんにちは 栄養士です

1日の目安量を知りましょう

日本酒	1 合
ビール	500cc
ワイン	200cc
焼酎	100cc
ウイスキー	60cc

お酒を飲む機会が増える時期です

自分の飲み方、食べ方を振り返ろう

年末、年始にかけてはお酒を飲む機会が増える時期のため、おつまみも食べ過ぎてしまう傾向があります。

摂りすぎた分は内臓脂肪となり、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症、肝臓病などの原因となります。

お酒を飲まれる方は飲みすぎに気をつけて、おつまみも上手に選びましょう。

よく食べるおつまみも…
実はこんなに
高カロリー

ご飯1杯が
160kcal



晩酌のおつまみだけで、
ご飯1杯以上のカロリー
となります。

200kcal	350kcal	400kcal
ベーコン5枚 (50g) アーモンド (20粒) 柿の種 (小袋) 45g	さきいか1袋 (100g) ドライサラミ 1袋20本 (100g)	ポテトチップス 1袋 (70g)



おすすめ 低カロリーおつまみ

枝豆 もずく酢 湯豆腐 野菜料理 (サラダ、和え物、煮物) など



12月の保健メモ

(連絡先 役場保健福祉課 保健予防係 ☎ 2-4630)

行 事	実施日	時 間	会 場
麻しん風しん混合予防接種	6日(火)、20日(火)	15:30~16:00	町立診療所 (要予約)
運動教室①	7日(水)	18:00~20:00	庶野生活館 (要予約)
親子のリフレッシュ運動教室①	8日(木)	9:30~11:30	保健センター (要予約)
乳幼児健診	13日(火)	8:50~11:00	保健センター (個別通知)
日赤巡回診療	14日(水)、28日(水)	13:30~14:30	保健センター (要予約)
三種混合予防接種	20日(火)	13:30~13:50	保健センター
B C G 予防接種		13:50~14:00	保健センター
ポリオ予防接種		14:00~14:20	保健センター
ヒブワクチン予防接種		14:20~14:40	保健センター (要予約)
小児用肺炎球菌ワクチン予防接種		14:40~15:00	保健センター (要予約)
離乳食教室 (ゴックンベビークラス)	21日(水)	13:30~15:30	保健センター (要予約)
二種混合予防接種	22日(木)	14:00~16:00	庶野診療所 (要予約)

●庶野診療所 (☎4-2219)

三種混合・BCG・麻しん風しん混合・ヒブ・小児用肺炎球菌の個別予防接種

①実施日……毎週月・木曜 14:00~16:00 ※要予約

●広尾町かめだクリニック (☎01558-2-4724)

ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種を受けることができます。希望の方はお問い合わせください。

●ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種を保健センターで希望する場合

接種日の前週金曜日までに、保健予防係へ電話予約 (☎2-4620) が必要です。

●浦河日赤病院 (☎0146-22-5111)

麻しん風しん混合予防接種

①小児科外来申し込み……1期 (1~2歳)・2期 (小学校入学前1年間の小児)・3期 (中学1年生の年齢に相当する者)

②医事課申し込み……4期 (高校3年生の年齢に相当する者)

ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種

医事課にお申し込みください。



《一般書》

■ こいわすれ

畠中 恵

■ 神様が伝えたいこと

木村 藤子

■ 勤めないという生き方

森 健

■ 音楽史を変えた五つ

の発明

ハワード・グッドー

ル

《児童書》

■ 哲学のおやつ

ブリジット・ラベ

■ 10才までに知ってお

きたい世の中まるごと

とガイドブック

池上 彰

■ 12才までに知ってお

きたい世の中まるごと

とガイドブック

池上 彰

■ 1000の知識恐竜

渡辺 政隆

■ どうぶつフムフムず

かん

マリリン・ベイリー



図書室ボランティアグループ「リール」の作製するクリスマスツリーのタペストリーが完成しました。

タペストリーは、クリスマスまで図書室に展示しておりますので、ぜひご覧ください。

防災情報版 ⑭

北海道の地震と津波

— 東日本大震災、そしてこれから

去

る十一月十二日、えりも岬地区の林業総合センターにおいて、「第三回サイエンスカフェinえりも」が開催されました。サイエンスカフェとは、飲み物を片手に、科学の話題について専門家と参加者が気軽に語り合うイベントのことを言います。えりも町と北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センターの主催によるこのイベントは、昨年の本町地区、庶野地区に続いて今回で三回目となりました。土曜日の夕刻の開催にもかかわらず、多くの方々にご来場いただきました。

今回は、「北海道の地震と津波—東日本大震災、そしてこれから」と題して、東日本大震災を振り返りながら、北海道周辺では将来どのような地震・津波が起きる可能性があるのか、えりも町では特にどう備えるべきかについて考えようという趣旨で開催されました。当日は、岩本町長の挨拶より始まり、GPS津波計を北海道にも配備し、津波災害の軽減に役立てるべきだとの大変重要なご指摘がありました。次に、当センターの谷岡センター長より、北海道の地震と津波に関する話題提供をいたしました。その中で、東日本大震災を起こした東北地方太平洋沖地震に匹敵する超巨大地震が、北海道の太平洋沿岸でも

過去三千年の間に七回起きた可能性があり、最新の超巨大地震が約四百年前に起きたと考えられることから、近い将来、次の超巨大地震が発生するおそれがあることなどが説明されました。休憩後は、来場者の方々から寄せられた質問に、当センターの教員がお答えしていききました。「岬地区は特に予想される津波の高さが高いのはなぜか」「どうして、えりも町の地震の揺れが、周囲より小さくなるのか」といった本質をつく質問が多く寄せられ、えりも町の皆さんの防災意識の高さを改めて感じました。そのようなみなさまに、今後も微力ながらお力添えしていきたいと考えています。

最後に、当日時間の関係で説明できなかった「地震の揺れ」に関して少しご説明します。地震は、「ガタガタ」から「ゆらゆら」まで、いろいろな揺れを発生させますが、地震の規模が大きいほど、「ゆらゆら」が強くなります。ですから、揺れそのものが小さくても、いつまでもゆくらゆくらと続く場合は、遠くで大きな地震が起きている証拠です。その時には、津波の可能性を考えて、避難をお願いいたします。



山田 卓司

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター・助教
京都大学にて学位取得後、東京大学研究員、アイホン大学研究員、アメリカ地質調査所ハワイ火山観測所研究員を経て2010年4月より現職

お知らせ



町道の通行止め

冬期間未除雪区間のため、次の期間町道が通行止めとなります。

■通行止の区間

歌別（ふ化場）～えりも岬（金丸宅）

■通行止期間

十二月一日から平成二十四年四月二十日まで

（路面状況により、開始日が変更となる場合もあります）

■お問い合わせ先

建設水道課建設管理係

☎二二二二一四

津波避難アンケート

道では、東北地方太平洋沖地震時の避難行動や防災意識を把握するた

経済センサス

平成24年2月に実施する「経済センサス-活動調査」は、すべての企業・事業所を対象に、全産業分野の経済活動を把握する大切な調査です。

調査の結果は、国の各種行政施策を始め、地域の産業振興や商店街の活性化など、地域行政のための基礎資料として活用されます。

調査票は平成24年1月末日までに、調査員がお届けしますのでご協力をお願いします。

■お問い合わせ先

企画課振興係 ☎2-4612



め、電話アンケートの調査をします。

調査は、道庁から委託を受けたチュウケイ株式会社が行います。みなさんのご協力をお願いします。

■調査の実施方法

対象地域にお住まいの方へ、電話で聞き取りをします。生年月日や住所等をお聞きすることはありませんので、個人が特定されることはありません。いただいたご回答は本調査の目的にのみ使用します。

■お問い合わせ先

北海道総務部危機対策局危機対策課防災グループ

☎〇一一二〇四一五〇〇八

■調査の受託会社

チュウケイ株式会社

☎〇一一二七七一五九三三

釣りをする際は

これからの時期、釣りをする際には、次のことに注意しましょう。

- ・目的地の気象条件を事前に確かめ、家族や知人に目的地を連絡しておきましょう。また、単独行動はできるだけ避けましょう。
- ・船釣り、磯釣りの際、救命胴衣は常時着用しましょう。
- ・車やテントなどで暖を取る場合は、一酸化炭素中毒にならないよう喚起を十分に行いましょう。

強制抑留者への特別給付金

独立行政法人平和祈念事業特別基金では、シベリア戦後強制抑留者に



するが みなと
駿河 湊くん
(勇介・唯)

H22.12.19生(えりも岬)

じいちゃん大好きなチビゴジラです。



かわはら ゆい
河原優衣ちゃん
(司・真奈美)

H22.12.13生(大和)

いつもお姉ちゃんの後を追いかけています。歌が大好き。



おおはし ひでき
大橋英輝くん
(明史・裕香)

H22.12.10生(庶野)

たくさん食べて、お兄ちゃん達と遊びながら、大きく育っています。



しみず たける
清水嵩流くん
(亮・優希)

H22.12.9生(大和)

食べることが大好きな元気いっぱいの男子です。

あつまれ！一歳児



「すくのび」は、「すくすくのびのび育て」の願いを込めたタイトルです。

対する特別給付金を支給しています。

■対象者

旧ソビエト連邦又はモンゴル国の地域における戦後強制抑留者で平成二十二年六月十六日に日本国籍を有するご存命の方。

■請求受付締切

平成二十四年三月一日まで。

受付期限までに、請求しなかった場合は支給されません。まだ、請求されていない方はお急ぎください。

請求書をお持ちでない方は、請求書類をお送りしますので、至急連絡してください。

■お問い合わせ先

子育てテレホンサービス

【小学生期】	反抗的な子ども	12/8~12/14
【中学生期】	学習意欲のない子ども	12/15~12/21
【親の学習】	自立心を育てる	12/22~12/30
【幼児期】	5歳児の発達(1)	1/1~1/9

☎ 2-3715

・独立行政法人平和祈念事業特別基金(事業部特別給付金認定担当)

☎〇五七〇—〇五九—二〇四

・受付時間 月々金 九時~十八時

●弁護士相談

弁護士相談センターでは、次のとおり相談を受け付けています。相談には予約が必要です。

▼浦河相談所

・十二月十二日

・十三時~十六時

▼静内相談所

・十二月七・十四・十九・二十一・二十八

十六日、一月四日

・十三時三十分~十六時三十分

■予約受付

・月々金曜日 十時~十六時

☎〇一四六—四二—八三七三

♥ご厚志に感謝します

○更生保護女性会えりも分会ボラティア

やまと苑へ ウエスなど段ボール七箱分

○沼館信夫さん(大和)

やまと苑へ

大和第一自治会へ

三万円
五万円



夕日まだ火の色とんぼ水に落つ
流木の砂に埋もれて雁渡し
影のびて黄昏ゆくや秋の海
廢船や闇を深めて時雨くる
雪虫も我も同じ命かな
茫然と景めし庭や時雨くる

小山内栄峰
佐々木蓉子
蛭名 渚
木村 武舟
手塚 澄子
曾田つゆ子

(えりも吟社)

- 大和第二自治会へ 五万円
- 大和婦人部へ 三万円
- 金子年雄さん(新浜) 五万円
- 上歌別自治会へ 三万円
- 上歌別老人クラブへ 三万円
- 中澤良一さん(東洋) 三万円
- 東洋第一自治会へ 三万円
- やまと苑へ 三万円
- 田中里美さん(大和) 三万円
- 東洋第四自治会へ 三万円
- ★社協のボランティアセンターへ 二万六千円
- 松緑神道大和山 苦小牧教区婦人会(えりも岬) 二万円
- 大井一純さん(大和) 二万円
- 沼館信夫さん(大和) 三万円
- 金子年雄さん(新浜) 二万円
- 田中里美さん(大和) 三万円



かが いらい 加賀 海ちゃん
(莊史・かおり)
H22.12.23生(大和)

お兄ちゃんが大好き
でいつも仲良く遊ん
でいます。



はなだ えいすけ 花田 瑛亮くん
(信人・二美)
H22.12.19生(新浜)

強いお年ちゃんに負け
ずに大きくなあれ!

風の館

「初日の出」臨時開館のお知らせ



例年、多くの人で賑わう襟裳岬の初日の出。風の館では、この初日の出に合わせて臨時的に施設を開館し

ます。

当日は、コーンスープや

ホットドリンクの無料提

供、日の出の写真も展示し

ます。また、えりも漁協の

コンブなどを販売する予定

です。

ご家族、友人連れ立っ

て、ぜひご来館ください。

●日時

平成二十四年一月一日

午前五時から八時まで

●場所

襟裳岬「風の館」

●内容

①コーンスープの無料提

供

②ホットドリンク（コー

ヒー、緑茶、紅茶、昆

布茶）の無料提供

③コンブ、フノリの販売

※無くなり次第終了

④日の出写真の展示

●その他

風の館への入館には、

「入館料」が必要です。

今年から入館料が次のよ

うに変わり、利用しやすい

料金となっています。

なお、幼児は引き続き無

料です。

●大人 三百円

●小・中学生、高校生

町内 無料

町外 二百円

●問い合わせ先

襟裳岬「風の館」

☎三一一二二三

人のうごき

(平成23年10月31日現在)

近浦	179人	68世帯
笛舞	301人	121世帯
大和	1,051人	445世帯
本町	925人	405世帯
新浜	681人	301世帯
歌別	371人	141世帯
東洋	410人	136世帯
えりも岬	568人	212世帯
庶野	725人	272世帯
目黒	173人	75世帯
合計	5,384人	2,176世帯
(男 2,693人 女 2,691人)		
転入	19人	転出 14人
出生	3人	死亡 4人

税の納期

◆国民健康保険税 第6期
(納期限 平成23年12月20日)



えりも建設協会の建設現場安全パトロール (10月25日)

成人式の

お申し込み間近!

成人式は申込制となっています。
申し込みがまだお済でない方は、早急にお申し込みください。
申込方法などの詳細は広報10月号をご覧ください。

《お問い合わせ・申込先》
教育委員会生涯学習課社会教育係
☎2-2526 / FAX2-2524

12月の行事

21日	17日	10日	8日
町議会 (役場庁舎議場 / 11時〜 / 22日)	科学であそぼ おもしろ実験室 in えりも (福祉センター / 10時〜12時)	体育協会40周年記念全道選抜バレー大会 (町民体育館 / 9時〜17時 / 11日)	運転免許証更新時講習 (福祉センター / 優良13時〜13時30分・一般14時〜15時)